

地域に根ざした青少年活動の充実を

常陸大宮市は、平成16年10月に大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村が合併したことに伴い、平成17年5月27日に青少年育成常陸大宮市民会議として発足し、7年目に入った。

現在、市民会議には12支部があり、それぞれが地域の特性を活かして各支部単位で家庭、学校、地域が一体となったさまざまな活動を展開している。

- ・あいさつ・声かけ運動
- ・防犯パトロール
- ・クリーン作戦
- ・教育講演会
- ・各種体験学習
- ・親子ふれあい教室等々



親子の対話
～ふれあいミーティング～

とりわけ「**あいさつ・声かけ運動**」は、ほぼ全支部で取り組んでおり、市内全域にあいさつの輪が広がっている。

平成22年度には、県民会議と共催で大宮支部が主体になり、「親子ふれあいミーティング“3世代ふれあいトークin大宮”」～聴いて子どもの声、わかっておとなの心～を開催し、お互いの考えを自由に述べあうトークバトル形式で、3世代のふれあいを深める新規事業を行なった。

全体行事としては、毎年11月に「**青少年をたたえる市民のつどい**」を開催している。青少年の善行や青少年育成に功績のあった方々の表彰と各学校から青少年の主張作文を募集して、選考のうえ、主張発表を行っている。さらに、アトラクションとして郷土芸能や学校のクラブ活動の発表も行っている。

また、年度末には、機関紙「**良い青少年を育てよう**」を発行し、市民会議の活動状況を全戸配布して情報提供をしている。



善行表彰を受けた皆さん

現在、常陸大宮市では、少子化により学校の適正配置を進めている。それに伴い、学校と地域の連携が難しくなりつつあり、支部の活動や運営上の課題となっているが、今後も、家庭、学校、地域が一体となった取り組みができる環境づくりを目指して行きたい。

青少年育成桜川市民会議

生きることの大切さ・心の豊かさを求めて

青少年育成桜川市民会議は、次代を担う青少年が社会の一員として責任と役割を自覚し、心身ともに健やかにたくましく成長できるよう、家庭・学校・地域の連携を基本に、各種事業を推進している。

青少年の健全育成には、地域とのふれあいが不可欠であることから、地域社会での人間関係の希薄化を解消するため、まずは大人から、いつでも、どこでもあいさつ・声かけが交わされるよう「**あいさつ・声かけ運動**」を展開している。

駅前、学校校門前、主要交差点で道行く子どもたち、大人に「おはようございます。行ってらっしゃい。」の声かけに、「おはようございます。」と元気に明るい返事が返ってくる。参加した市民は、「気持ちいい朝を迎え、楽しい一日が過ごせそうだ。」と喜んでいる。

これが、あいさつの持つ人と人を結ぶ魔法の力である。また、あいさつを忘れた市民には、広報車や防災無線により、子どもたちの声で呼びかけ、この運動の浸透を図っている。



街頭キャンペーン

青少年の主張大会は、毎年12月に市内の小・中・高校の代表者19名が、日常生活の中で感じたことや考えていることを広く社会に訴えることにより、将来に向かって自信と誇りを抱き、青少年がより深く他者や社会との関わりについて考え、関心をもつことを目的に開催している。

また、発表文集を作成するとともに、本年は、学校で活用するようDVDの作成を予定している。



主張発表した皆さん

青少年のための社会環境浄化活動は、毎年10月に市内11小学校区に分かれ、「違法ピラ」「違法看板」等の撤去と「青少年健全育成に協力する店」の訪問活動を行っている。長年の活動により違法看板・ピラ等は見かけなくなったので、近年は空き缶等の収集と子どもたちと一緒に通学路を歩き、子どもの目線で通学路の危険個所の点検を行っている。

そのほかに、市民会議の3支部において、地域の特性を活かした地域住民とのふれあいや様々な体験活動を実施している。